

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 原田工業株式会社

コード番号 6904 URL <http://www.harada.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部長兼管理本部長 (氏名) 佐々木 徹

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	20,353	△4.0	1,057	—	648	—	399	—
28年3月期第2四半期	21,196	6.8	△140	—	△303	—	△465	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,413百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △220百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.35	—
28年3月期第2四半期	△21.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	29,684	11,790	11,790	13,367	39.7	542.09
28年3月期	33,497	13,367	13,367	—	39.9	614.58

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 11,790百万円 28年3月期 13,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△7.4	1,400	29.8	1,100	189.5	800	—	36.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	21,758,000 株	28年3月期	21,758,000 株
29年3月期2Q	7,013 株	28年3月期	7,013 株
29年3月期2Q	21,750,987 株	28年3月期2Q	21,751,691 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結貸借対照表関係注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、雇用、所得環境の改善や個人消費の回復等を背景とした緩やかな拡大基調が続いております。欧州では、輸出の伸びは加速したものの、所得の回復ペースの鈍化に伴い個人消費の改善が減速したこと等もあり、回復のペースは緩やかに推移いたしました。アジアにおいては、中国では、輸出に持ち直しの動きが見られるものの、投資、生産等の伸びの鈍化を背景に景気の減速傾向が続いております。また、アセアン地域においては、雇用、所得環境の改善を背景とした個人消費の拡大等により緩やかな回復傾向となりました。

日本国内経済につきましては、個人消費等一部に弱さが見られたものの、雇用、所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移いたしました。

先行きにつきましては、世界経済、日本国内経済ともに緩やかな回復が続くことが期待されるものの、中国をはじめとするアジア経済の減速傾向や、英国のEU離脱問題による経済への影響等、景気の下振れリスクが懸念されます。

当社グループの属する自動車業界におきましては、自動車の生産台数が、日本では減産、アジア、北中米、欧州では増産となり、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、長期ビジョンである「HARADA NEXSTAGE 19」達成のための二つの柱である「競争の優位性の強化」と「最適な企業基盤の確立」を目指し、各領域における施策を推進すると共に、長期経営計画で掲げる目標をキャッチアップするための計画と位置づける「コスト構造改革計画」における各施策を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、自動車生産台数の増加を背景とした拡販により好調な市場があったものの、円高による為替影響が大きく203億53百万円（前年同期比4.0%減）となりました。利益面につきましては、「コスト構造改革計画」の推進による徹底した購入部材のコストダウンや一般経費削減等の実施により売上原価率、販管費率がともに大幅に改善し、営業利益は10億57百万円（前年同期は営業損失1億40百万円）となりました。経常利益は、収益性の改善により営業利益額が増加したものの、為替相場の変動の影響により営業外費用に為替差損3億66百万円を計上したこと等により6億48百万円（前年同期は経常損失3億3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、アメリカの販売子会社であるHARADA INDUSTRY OF AMERICA, INC.における販売代理人契約の解除に伴い特別損失に契約解約金2億23百万円を計上したものの3億99百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億65百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①日本

自動車生産台数は減少したものの、拡販活動により外部売上高は64億65百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント間の内部売上高は15億51百万円（同28.8%減）、営業利益は販管費率が改善したものの、売上原価率の悪化により82百万円（同82.2%減）となりました。

## ②アジア

アジア市場は自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動により好調だったものの、為替の影響等により外部売上高は53億18百万円（同2.4%減）、セグメント間の内部売上高は65億58百万円（同2.5%減）、営業利益は4億89百万円（前年同期は営業損失6億97百万円）となりました。

## ③北中米

米国及びメキシコ市場は自動車生産台数が増加したものの、為替の影響等により外部売上高は64億18百万円（前年同期比14.3%減）、セグメント間の内部売上高は37百万円（同19.5%減）、営業利益は5億32百万円（同183.1%増）となりました。

## ④欧州

欧州市場は自動車生産台数の増加を背景とした拡販活動により好調だったものの、為替の影響等により外部売上高は21億51百万円（同7.5%減）、セグメント間の内部売上高は99百万円（前年同期は6百万円）、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失1億10百万円）となりました。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として営業利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、230億57百万円（前連結会計年度末257億64百万円）となり、27億6百万円減少いたしました。

主に、「現金及び預金」が10億11百万円、「原材料及び貯蔵品」が7億64百万円、「商品及び製品」が6億33百万円減少いたしました。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、66億26百万円（前連結会計年度末77億32百万円）となり、11億5百万円減少いたしました。

主に、「有形固定資産」が5億71百万円、「投資その他の資産」が4億45百万円減少いたしました。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、157億99百万円（前連結会計年度末156億39百万円）となり、1億59百万円増加いたしました。

主に、「短期借入金」が8億15百万円、「支払手形及び買掛金」が6億30百万円減少し、「1年内返済予定の長期借入金」が20億円増加いたしました。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、20億94百万円（前連結会計年度末44億89百万円）となり、23億95百万円減少いたしました。

主に、「長期借入金」が23億62百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、117億90百万円（前連結会計年度末133億67百万円）となり、15億76百万円減少いたしました。

主に、「為替換算調整勘定」が18億25百万円減少いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して10億9百万円減少し、41億77百万円（前連結会計年度末比19.5%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「売上債権の増加額」6億37百万円等の減少要因がありましたが、「減価償却費」5億28百万円、「税金等調整前四半期純利益」4億23百万円等の増加要因により、3億92百万円の収入（前年同期は9億60百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「長期貸付金の回収による収入」2億51百万円等の増加要因がありましたが、「有形固定資産の取得による支出」4億65百万円等の減少要因により、2億12百万円の支出（前年同期は9億96百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」87億96百万円等の増加要因がありましたが、「短期借入金の返済による支出」89億39百万円等の減少要因により、6億73百万円の支出（前年同期は3億64百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月9日付で公表いたしました「平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値の修正に関するお知らせ」において平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値を修正しております。なお、通期の連結業績予想につきましても、平成28年5月19日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,215,101	4,203,551
受取手形及び売掛金	8,390,096	8,188,719
商品及び製品	5,380,677	4,747,432
仕掛品	674,397	534,931
原材料及び貯蔵品	4,413,224	3,648,292
その他	1,707,653	1,752,090
貸倒引当金	△16,289	△17,116
流動資産合計	25,764,862	23,057,900
固定資産		
有形固定資産	5,454,771	4,883,376
無形固定資産	412,554	321,741
投資その他の資産		
その他	1,867,581	1,421,841
貸倒引当金	△2,405	—
投資その他の資産合計	1,865,175	1,421,841
固定資産合計	7,732,502	6,626,959
資産合計	33,497,364	29,684,859
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,916,465	3,286,210
電子記録債務	652,250	604,340
短期借入金	8,085,266	7,270,253
1年内返済予定の長期借入金	725,000	2,725,000
賞与引当金	278,285	302,200
役員賞与引当金	12,600	12,600
その他	1,969,942	1,598,808
流動負債合計	15,639,809	15,799,412
固定負債		
長期借入金	3,837,500	1,475,000
退職給付に係る負債	252,957	210,295
その他	399,418	409,176
固定負債合計	4,489,875	2,094,471
負債合計	20,129,685	17,893,884
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	8,464,618	8,700,508
自己株式	△2,275	△2,275
株主資本合計	12,341,506	12,577,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,424	6,525
為替換算調整勘定	1,132,105	△693,227
退職給付に係る調整累計額	△111,356	△99,718
その他の包括利益累計額合計	1,026,173	△786,420
純資産合計	13,367,679	11,790,975
負債純資産合計	33,497,364	29,684,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	21,196,091	20,353,796
売上原価	16,946,356	15,443,824
売上総利益	4,249,734	4,909,971
販売費及び一般管理費	4,389,808	3,852,940
営業利益又は営業損失(△)	△140,074	1,057,031
営業外収益		
受取利息	13,781	8,045
作業くず売却益	15,612	10,241
その他	40,611	14,209
営業外収益合計	70,005	32,496
営業外費用		
為替差損	50,788	366,775
支払補償費	105,331	—
その他	77,439	74,135
営業外費用合計	233,559	440,911
経常利益又は経常損失(△)	△303,628	648,616
特別利益		
固定資産売却益	4,308	2,884
特別利益合計	4,308	2,884
特別損失		
契約解約金	—	223,580
その他	7,534	4,333
特別損失合計	7,534	227,913
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△306,855	423,587
法人税、住民税及び事業税	142,444	165,392
法人税等調整額	16,462	△140,826
法人税等合計	158,907	24,565
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△465,762	399,022
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△465,762	399,022



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△465,762	399,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△437	1,101
為替換算調整勘定	246,554	△1,825,333
退職給付に係る調整額	△823	11,638
その他の包括利益合計	245,293	△1,812,594
四半期包括利益	△220,468	△1,413,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△220,468	△1,413,571
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△306,855	423,587
減価償却費	499,144	528,372
支払利息	71,240	67,621
為替差損益(△は益)	92,165	252,187
売上債権の増減額(△は増加)	△562,816	△637,859
たな卸資産の増減額(△は増加)	344,544	203,658
仕入債務の増減額(△は減少)	630,754	△247,036
契約解約金	—	223,580
支払補償費	105,331	—
その他	150,228	△80,745
小計	1,023,738	733,364
法人税等の支払額	△149,441	△299,221
利息の支払額	△91,127	△53,338
支払補償費の支払額	△105,331	—
その他の収入	282,855	11,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	960,692	392,381
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△892,257	△465,510
長期貸付金の回収による収入	—	251,915
その他	△103,819	1,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△996,076	△212,001
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	9,310,219	8,796,782
短期借入金の返済による支出	△10,141,084	△8,939,964
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△362,500	△362,500
配当金の支払額	△162,109	△162,234
その他	△8,607	△5,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,082	△673,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,785	△516,384
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△393,680	△1,009,323
現金及び現金同等物の期首残高	5,889,958	5,187,069
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,496,278	4,177,745

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表関係注記）

偶発債務（訴訟関係）

当社グループと取引のある保定長城汽車股份有限公司（以下、「長城汽車」という。）は、中国に本社のある泰州蘇中天線集団公司（以下、「蘇中天線」という。）より、長城汽車のシャークフィンアンテナが蘇中天線の所有する特許を侵害しているとして、当該特許技術を利用した製品の製造、販売に関する行為の差し止め等及び損害賠償（6,000万人民元）を請求する訴訟を南京裁判所に提起されております。

当社の連結子会社である上海原田新汽車天線有限公司（以下、「上海原田」という。）は、当該製品の一部を、平成25年5月14日より長城汽車に対して製造・販売しております。これにより、平成27年6月26日付で、上海原田は、長城汽車との間に締結している取引基本契約による紛争解決義務に基づき、長城汽車とともに当該訴訟の共同被告になっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	5,928,432	5,449,544	7,491,527	2,326,585	21,196,091	—	21,196,091
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,178,556	6,728,765	46,199	6,586	8,960,107	△8,960,107	—
計	8,106,989	12,178,310	7,537,727	2,333,171	30,156,198	△8,960,107	21,196,091
セグメント利益又は損失(△)	463,688	△697,836	187,932	△110,559	△156,775	16,700	△140,074

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,700千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	6,465,943	5,318,034	6,418,551	2,151,267	20,353,796	—	20,353,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,551,429	6,558,669	37,170	99,016	8,246,286	△8,246,286	—
計	8,017,373	11,876,703	6,455,721	2,250,283	28,600,082	△8,246,286	20,353,796
セグメント利益又は損失(△)	82,365	489,120	532,023	△5,867	1,097,641	△40,610	1,057,031

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△40,610千円は、セグメント間取引消去であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。